

## 令和2年度SDGsチャレンジサポートプロジェクト

### 第2学年 県内フィールドワーク

#### (概要)

第2学年の探究学習委員による県内フィールドワークを実施しました。

希望者による探究学習委員は、1年次における探究活動の経験を基に、グループごとに研究主題をそれぞれ新たに設定し、年度末の探究学習発表会に向けて1年間の調査・研究を行います。フィールドワークを通して新たな発見を期待します。

#### 記

- 1 目的 フィールドワークを通じて、探究学習のテーマ設定に対する研究を深める。
- 2 期日 令和2年8月17日(月)～18日(火) 1泊2日
- 3 事業所 かすみがうら市「[みらいづくりカンパニー](#)」、大子町地域活性化NPO法人  
日立市内各事業所、(株)茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメントほか
- 4 対象 第2学年探究学習委員14名

#### 5 内容

##### (第1日目)

本校SGHの時期から継続してご助言を頂いております、筑波銀行 渡辺一洋氏のお力添えにより、新しい手法で地方創生に取り組んでいる事業所を紹介して頂きました。

かすみがうら市「[みらいづくりカンパニー](#)」では、市の観光課が中心となり、地元食材をふんだんに使ったレストランや古民家ゲストハウスの開業、つくばりんりんロードとの連携など、県内外の観光客を新たに誘客するスポット創出の取り組みを見学しました。

大子町地域活性化NPO法人では過疎に悩む地元商店街の店主 笠井英雄氏らが中心となり、昭和の面影を色濃く残す商店街を逆手に取り、リノベーションした古民家カフェ [daigo cafe](#) の開業や、全国よさこい祭りの企画など、町外の人々が何度も大子を訪れたいくなるような温かな街づくりとともに、町の住人自身も楽しんでしまおうという「[太子デパートプロジェクト](#)」の事例を紹介して頂きました。また伝統工芸である大子漆(うるし)の魅力に惹かれて大子に移住し、その伝統を絶やさぬよう栽培技術の継承にも務める漆芸家 [辻徹氏](#) の話も伺うことができました。

初日の訪問では、いつも身近にあるが故に気付かなかった素材や魅力である、地域資源を新たに発見・開発し、持続的な地域振興につなげようとする地元の方々の情熱を感じることができました。終日私たちの案内をして下さった渡辺氏からは、銀行の役割は利益追求に走るのではなく、こういった地域を元気づける旗振り役をするのが地方銀行の役割であるとおっしゃっていた事が印象に残りました。

## (第2日目)

二日目の午前は、各班がそれぞれ設定した研究テーマを掘り下げるべく、日立市役所や日立警察署、かみね公園など、日立市内の各事業所を訪問し現地調査や直接取材等を行いました。生徒たちは事前に各事業所とアポイントを取り、担当者に直接取材を行いました。事業所によっては、第一線で活躍する本校OBが丁寧に対応してくださるなど、大変心強く感じられました。

午後は水戸市中心部にある [\(株\) 茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント](#) を訪問し、代表取締役社長 山谷拓志氏のお話を伺いました。プロスポーツは「社会の公器」であるとの信念により、山谷氏は茨城ロボッツの運営を核としながら地域とのつながりを育み、未来を担う青少年の育成に積極的に取り組む、これまでの常識を覆すようなチャレンジングな事例を紹介して頂きました。小学校における選手のあいさつ運動や、ホームゲームにおける小中学生の無料招待、地元ラジオ局の主要株主化、有名選手の獲得など、地域住民にとって選手が顔の見える身近な存在となるための取り組みを少しずつ積み重ね、地域に愛されるプロバスケットチームづくりに励んでいることが分かりました。

グローバル社会といわれて久しい現代、私たちは刻一刻と変化する世界や都市部の情勢に目を奪われがちですが、自分たちの住んでいる地元を愛し、地域をもっと元気にしようと熱心に活躍している方々がたくさんいるのだということを実感することのできた2日間のフィールドワークでした。

## 6 参加した生徒の感想（一部抜粋）

- ・今回のフィールドワークでは、町おこしについて今まで考えたことのなかった多角的な新しい知識を得ることができた。
- ・伺った施設の方々の目標は、主に地域創生・町おこしだった。それは手法も違えばきっかけも違ったが、どの方たちもその土地が好きという気持ちだけは共通していて、その気持ちが物事の動力源になりうるのだなと実感した。今回お会いした方々は、自身がその地域を好きになったその魅力を、より多くの人に知ってもらおうと知恵を絞り、徹底されたほんの妥協も怠らない計画を練っていた。それを最後までやり通そうとする信念が私に伝わってきた。
- ・2日間を通して感じた事は、何事も成し遂げようとするのには愛が大切であるという事。所謂執着心のようなものがある人は、生き生きとしていて、先の未来の存在を傍観側に想像させるような気がした。
- ・今回のフィールドワークでは、行政や個人など、それぞれの形で地域創生のためにご尽力されている方々のお話を直接伺うことができた。自分のやりがいを感じることを突き詰めて、同時に地域の人と新たに茨城に来てくださった方を笑顔にする仕事について学べた事は、今後の人生において大きな財産になったと思う。

## 7 県内フィールドワークの様子



[かすみキッチン](#)



渡辺氏より説明を聞く



古民家ゲストハウス「[江口屋](#)」



大子デパートプロジェクトについて



大子カフェで一息中！



蔵を改装した「器而庵」



大子漆の魅力について



ノスタルジックな街並み



日立市役所にて



OB が対応して下さいました



山谷氏より話を聞く



M - SPO 前でパチリ



社氏と一緒に「器而庵」にて